

総合振興計画とは

西ノ島町の目指す姿やその実現に必要な施策を明らかにし、今後のまちづくりの指針として定める計画

次期計画：令和7年度～令和16年度の10年間

(参考)

第5次計画：平成25年度～令和6年度
「人の集う島へ」

第4次計画：平成15年度～平成24年度
「人と人がつなぐ未来への架け橋」



(1) 西ノ島町総合振興計画・総合戦略の策定について

①計画の位置づけ

総合戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）とは

「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という悪循環を断ち切り、地方において「しごと」と「ひと」の好循環を確立して「まち」に活力を取り戻すことで、人口減少に歯止めをかけ、活力ある日本社会を維持することを目指す

基本目標（国）

- 1) 地方における安定した雇用を創出する
- 2) 地方への新しいひとの流れをつくる
- 3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 4) 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

対象期間

第1期戦略（平成26年度～令和元年度）

第2期戦略（令和2年度～令和6年度）

第3期戦略（令和7年度～令和11年度）

+ デジタルの力で、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す
(デジタル田園都市国家構想)